

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ]

2025 03

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、仙台、福岡、広島にて46万部発行 下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

本紙はスポンサー様の協賛により制作しております。

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは

TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作/株式会社テイルスポーツ案内広告社

〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F

©2025 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



感動の連続、アフリカの旅。

デジタルからしばし離れて 大自然を深呼吸する旅へ

コロナ禍のステイホームを機にキャンプやサイクリング、ツーリングなど、逆にアウトドアの趣味が人气的になったことは記憶にも新しい。自然と親しむ時間の素晴らしさに気づき、そのまま自身のライフスタイルに組み込んだ人も少なくないだろう。自然環境との距離が縮まると、必然的にモノの見方に変化が生じるもの。デジタルオーバーロードが社会問題化する時代の反動もあつて、これからの関心が高まりそうな地域がある。それは、アフリカだ。

手付かずの自然が現代人に憧憬を抱かせ、またさまざまな分野で秘めたポテンシャルに注目が集まる。だが、ひとことアフリカと言っても、国は50以上もある。国際的なスポーツ大会以外では馴染みが薄いのも仕方のないところだが、実はここ数年、日本人の間でもアフリカは観光先としての人気が高まっているという。そこで今回は、アフリカ南部

に約5年の在住経験があり、日本人観光客の現地コーディネーターなどで豊富な経験を持つ、アフリカ旅のスペシャリスト川上剛貴氏に、その魅力を伺った。

快適な旅を楽しめる親日国 南アフリカ共和国の魅力

同氏によれば、アフリカ諸国の中でも比較的よく耳にする南アフリカ共和国は、欧州などの人気観光地と遜色ない快適な旅が楽しめること。硬水ではあるが水道水をそのまま飲める国のひとつで、「一般的な観光なら衛生面も心配ない」とうた。新鮮な魚介類や肉をふんだんに使った料理は人気が高く、またワインの産地としても有名だ。

同様に、治安の面も「過度な心配は不要」と川上氏。2010年のサッカーW杯で開催地の選定条件を満たしたのだから当然と言えば当然だが、加えて南アはアフリカ諸国を代表する親日国のひとつでもある。たとえば、日本では2019年のW杯でラ

グビー人気が発見したが、同国の代表選手の多くが日本のチームで活躍中。また、経済発展に長く真摯に貢献してきた日本と日本企業への信頼は厚く、両国の絆は深まるばかり。日本文化に対する知識や関心も高いことで、川上氏自身も「ホテルをはじめ行く先々で人々の親切さを実感する」とのことだ。

医療水準の高さなど意外な面がある一方、大自然の感動的な光景は期待以上の素晴らしさ。多くの顧客の相談に応え、現在は旅行会社「パーパスジャパン」でその専門性を発揮する川上氏は、旅行先としての豊かな可能性に太鼓判をおす。そんな同氏は、先ごろ初めての「アフリカ旅行」におすすめのツアーを企画。何とご本人が添乗するプランとして販売を開始している。

自他ともに認める「アフリカのプロ」である川上氏が直接楽しみ方を指南してくれる特別なツアー。次ページでは、その詳細をご紹介します。



株式会社パーパスジャパン 川上 剛貴 氏

南部アフリカに5年在住。現地では旅行業に従事し、海外からの観光客や番組のコーディネーター、日本向けのマーケティング業務などに従事。帰国後は旅行会社に勤務し、アフリカのスペシャリストとして団体旅行の企画や個人旅行のコーディネーターとして活躍している。現在は、渋谷区に本拠を置く旅行会社「パーパスジャパン」に勤務。

川上氏からのメッセージ

今回は、私自身の添乗でお楽しみいただけるプランをご用意しました。内容は、7月に初めてアフリカを旅する方におすすめの周遊プラン、10月には「世界一の豪華列車」としてギネスブックに登録されている南アフリカのブルトレインを体験する旅の2コースです。世界遺産ピクトリアの滝やサファリ、ケープタウンなどベストシーズンを満喫できる観光地をめぐるつつ、お食事からホテルのロケーションまで、自信を持っておすすめできる旅行商品に仕上がりました。アフリカを知り尽くす者として皆様を安全にご案内し、さまざまな感動とサプライズをお届けいたしますので、次ページで詳細をご確認の上、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

My Favorite Life Style

世界のセレブが愛し続けるクルーズ旅の魅力とは

すべての観光地に船で移動するクルーズの旅。さまざまな交通手段を乗り継いで目的地に向かう必要がなく、まるでホテルごと移動しているような感覚なので、まさにストレスフリー。寄港地が近くにつれて、空の旅や陸の旅とはまったく異なる感動的な光景を味わえるのも魅力だ。パーパスジャパンが提案する2025年お勧めのクルーズは、下記の2プラン。

セレブリティクルーズ

五感を満足させるハイクオリティな美食、お客様一人ひとりへ心こもったサービス。スタイリッシュかつ落ち着いた空間を提供するセレブリティクルーズは、世界の旅行ガイドや専門誌で称賛され、著名なクルーズ専門誌による最高峰の賞「ベスト・プレミアムクルーズライン」を16年連続で受賞しており、世界中のクルーズファンから愛されるクルーズ船だ。



Celebrity Cruises 提供

船体の片側の海に突き出た可動式オープンデッキ「マジックカーペット」が特徴的で、きめ細かなサービスを提供するスタイリッシュなクルーズ船。ラストフロンティア・アラスカならではの大自然や動物、フィヨルドや氷河に出会えるダイナミックなクルーズの旅が楽しめる。



Celebrity Cruises 提供

星座という名の美しいプレミアム船。気品あふれるインテリアときめ細やかなサービスが定評の同社が誇るフラッグシップだ。北イタリアのモザイクの町ラベンナからアドリア海の真珠ドブロブニクを初め、クロアチアのエッセンスを巡り、シチリア島、イタリアのハイライトを縦断する一筆書きルートで、世界遺産の宝庫を巡る。

セレブリティ・エッジ号で航く アラスカ・大自然満喫クルーズ 10日間

催行日 2025年9月11日(木)～2025年9月20日(土)8泊10日
旅行代金 898,000円(お1人様/2名様1室)
オーシャンビューキャビン利用
ビジネスクラス別途追加料金
燃油サーチャージ及びクルーズ船諸税、チップ別途必要
食事条件 朝8 昼7 夕7 添乗員 同行します
最少催行人数 10名



◎ 魅惑の寄港地



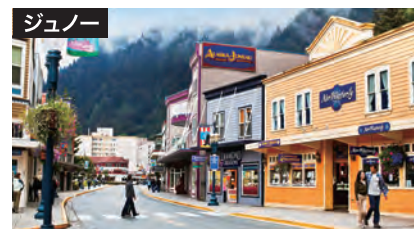
野生動物や土地の歴史・文化など、魅力あふれる風光明媚な航路で人気のクルーズエリア。島や海岸が現れては消え、次から次へと風景が移り変わり、またクジラやアザラシ、熊など100種類以上の哺乳動物に出会えるチャンスもあるため、目が離せない。



フィヨルドの切り立った険しい山々がそびえ、先端には、青く透き通るドーズ氷河が、気泡による反射の影響で海面はエメラルドグリーン独特の色に染まる。轟音のように響くドーズ氷河のダイナミックな崩落を、目の前で眺めただけのこと。



スカグウェイのハイライトの一つはなんといってもホワイト・バスの列車。ゴールドラッシュ時代に建設され、ディーゼル機関車に引かれた時代物の客車で標高約1,000メートルのホワイト・バスへ向かう。深い渓谷に沿ったユコーン・ルートの眺望は美しく、雄大な自然を感じさせる。



ジュノーはアラスカ州の州都でありながら風光明媚な自然の宝庫。水辺にはザトウクジラやシャチが集まり、森の中のトレイルは雪を頂く山々へと続き、頭上には優美なワシが旋回する。

◎ 行程



寄港地	国名
1 成田 羽田	日本
2 シアトル	アメリカ
3 クルーニング	アメリカ
4 ケチカン	アメリカ
5 ジュノー	アメリカ
6 スカグウェイ	アメリカ
7 エンディコットアーム	アメリカ
8 インサイドパッセージクルーズ	アメリカ
9 パンクーパー港	カナダ
10 成田	日本

セレブリティクルーズ 乗船説明会及び見学会開催 限定20名

2025年4月8日(火)10:00～(予定)
場所 横浜港 事前予約は ▶ こちらから
参加費 無料
申込締切 2025年3月21日(金)
※事前予約必須となります。詳しくは上記QRまで。
※パスポートが必要となります。



南アフリカ・ジンバブエ・ザンビア・ボツワナの大自然を満喫! 人気の南部アフリカ周遊の旅

表紙で紹介した「アフリカのプロ」川上剛貴氏が企画した旅行2プランは、以下の通り。南部アフリカのハイライトを凝縮した4カ国周遊の入門ツアーと、豪華寝台列車ブルートレインで2泊し、3カ国を巡るスペシャルなツアーだ。どちらも現地に精通した川上氏自身の詳細な解説付きなので、楽しさが倍増することウケアイだ。



ビクトリアフォールズ(イメージ)

2025年7月6日発 初めてのアフリカ 南部アフリカ4カ国周遊 8日間

催行日 2025年7月6日(日)～7月13日(日)5泊8日
旅行代金 838,000円(お1人様/2名様1室)
ビジネスクラス追加料金 800,000円
燃油サーチャージ別途必要
食事条件 朝5 昼3 夕4 添乗員 同行します
最少催行人数 8名



日	行程	備考
1	羽田発 空路、シンガポール航空にてシンガポール経由ヨハネスブルグへ。	【機中泊】
2	着後、空路、ボツワナ共和国・カサネへ。午後 チョベ川の◎ボートサファリをお楽しみ頂きます。【カサネ/クレスト モワナ サファリ リゾート&スパ泊】	
3	早朝 チョベ国立公園内をサファリカーにて陸側よりゲームドライブ。午前 ジンバブエ共和国・ビクトリアフォールズへ。自由行動(ショッピング、オプションツアーをお楽しみください)【ビクトリアフォールズ/エレファント ヒルズ リゾート泊】	
4	午前 『世界遺産・ビクトリアの滝観光』【ジンバブエ、ザンビアの両側より見学】午後 自由行動 夜 【ルナレインボーツアー】※当日の天候、気象条件によりご覧いただけない場合もあります。【ビクトリアフォールズ/エレファント ヒルズ リゾート泊】	
5	午前 空路、ケープタウンへ。着後、『世界遺産・ケープ植物区系保護地域群・テーブルマウンテン観光』【ケープタウン/ボーツウッドホテルまたはコモドルホテル泊】	
6	終日 『世界遺産・ケープ植物区系保護地域群・ケープ半島観光』ボルダースビーチ ◎喜望峰(展望台、岬)ウォーターフロントにて自由行動。【ケープタウン/ボーツウッドホテルまたはコモドルホテル泊】	
7	ケープタウン発 空路、シンガポール航空にてシンガポール経由で帰国の途へ。	【機中泊】
8	羽田着。着後、解散となります。	

※ホテルは予定となります。同等クラスに変更となる場合もございます。



ホテル(イメージ)



食事(イメージ)

2025年11月1日発 豪華寝台列車ブルートレイン乗車と 南部アフリカ3カ国周遊 10日間

催行日 2025年11月1日(土)～11月10日(月)7泊10日
旅行代金 1,280,000円(お1人様/2名様1室)
ビジネスクラス追加料金 820,000円
燃油サーチャージ別途必要
食事条件 朝7 昼5 夕7 添乗員 同行します
最少催行人数 8名



日	行程	備考
1	羽田発 空路、シンガポール航空にてシンガポール経由ヨハネスブルグへ。	【機中泊】
2	着後、空路、ビクトリアフォールズへ。午後 ザンベジ川のサンセットクルーズ【ビクトリアフォールズ/エレファント ヒルズ リゾート泊】	
3	終日 チョベ国立公園サファリツアー【ビクトリアフォールズ/エレファント ヒルズ リゾート泊】	
4	午前 『世界遺産・ビクトリアの滝観光』【ジンバブエ側より見学】午後 空路、ケープタウンへ。【ケープタウン/ボーツウッドホテルまたはコモドルホテル泊】	
5	終日 『世界遺産・ケープ植物区系保護地域群・テーブルマウンテン観光』その後、『世界遺産・ケープ植物区系保護地域群・ケープ半島観光』ボルダースビーチ ◎喜望峰(展望台、岬)ウォーターフロントにて自由行動。【ケープタウン/ボーツウッドホテルまたはコモドルホテル泊】	
6	午前 豪華列車「ブルートレイン」にて2泊3日の旅スタート。	【車中泊】
7	ブルートレインにて優雅な列車旅をご堪能ください。午後 キンバリー観光(鉱山博物館、ピクホール見学)へ。【車中泊】	
8	午後 プレトリア駅下車→着後、ホテルへ。【プレトリア/キエヴィッツ クルーンハウテン ワイン エステート泊】	
9	ヨハネスブルグ発 空路、シンガポール航空にてシンガポール経由で帰国の途へ。	【機中泊】
10	羽田着。着後、解散となります。	

※ホテルは予定となります。同等クラスに変更となる場合もございます。



ブルートレイン(イメージ)



レストラン車両(イメージ)

株式会社パーパスジャパン
 【東京本社】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-19-17 ユーロ原宿
 【大阪支店】〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館10階A
 観光庁長官登録旅行業 第1574号
 一般社団法人 日本旅行業協会正会員(JATA)
 旅行専用ダイヤル **050-1750-4192**
 9:30～18:00土日祝休

この広告ではお申込みを受け付けておりません。
 詳しくは、パーパスジャパンのホームページをご覧ください。

アフリカ旅行説明会開催 2025年4月12日(土)11:00～

無料

zoom説明会 2025年4月16日(水)19:00～

場所 パーパスジャパン本社1階E-SPACEにて
アクセス JR山手線原宿駅から徒歩3分
申込締切 2025年4月4日(金)

参加者人数が少い場合は個別相談となります。

事前予約はこちら ▶



Biz Life Style Pick up >>>

2025年の旅行シーンは、「オーダーメイドの個人旅行」が主流に!?



あのコロナ禍を境に大きな変化を見せている、世界の観光市場。航空会社や鉄道などの交通機関は混雑状況をAで分析し、1年前から「早割」の割引価格で販売を開始。こうした動きの影響は、添乗員が同行する従来の団体ツアーの割安感が薄れ、個人旅行を好む層の増加があると考えられている。

お得に旅行を楽しむなら、早割が近道。しかし、個人での利用には少し注意が必要かもしれない。フライトや宿泊はサイトから簡単に予約できても、キャンセル時の対応などの各種条件を隅々まで読み込む作業は決して容易ではないからだ。また、メールやアプリで完結できるのにはありがたいが、その分、トラブルが発生した際のサポートは弱く、自力での解決を求められることにもなる。

そんな中で人気を集めつつあるのが、対面式の旅行相談ができる個人旅行だ。オーダーメイドとなるので費用が心配だが、早割のある航空会社をうまく活用すれば、団体旅行との価格差を埋めることができる。また、希望を細かく伝えることで必要な食事や観光、送迎などを抑え、重視したい旅の要素に予算を配分することも可能に。「ハネムーンなのでラグジュアリーホテルに泊まりたい」「現地でスポーツ観戦を組み込みたい」「できるだけ効率的なワイナリー巡りを楽しみたい」など、旅の目的を明確に伝えることで、より満足度の高い「旅創り」が可能になるわけだ。

ここで重要になるのが、相談先となる旅行会社のプランニング能力だ。川上剛貴氏が所属するパーパスジャパンは1990年創業、もとは世界各地に手配会社をパートナーに持つツアーオペレーター(地上手配会社)として発足した企業だ。旅行会社を相手に磨き上げてきた企画・手配力を、2000年からは一般客にも提供を開始。旅行相談は同社が得意とするところなので、「理想の旅」を実現したいなら相談してみる価値アリだ。

パーパスジャパンがおすすめする【豪華列車の旅】セレクション

憧れのベルモンドホテルを起点に、旅を企画。

LVMH(モエ・ヘネシー・リュイ・ウィットン)グループに属し、世界各国でラグジュアリーホテルやリバークルーズ、観光列車やレストランを運営するベルモンド社。修道院や古城など歴史的建造物を改築したホテルは、世界の旅行ファンの憧れの的だ。

日本では4社のみが正規販売代理店として認定されているが、パーパスジャパンはその1社。鉄道の旅は勿論、各地のベルモンドホテルへの宿泊を軸としたツアーづくりを相談でき、部屋タイプの指定など細かなアレンジも可能だ。また、パーパスジャパンからの予約なら、ホテルでの朝食サービスや客室のアップグレード、滞在中に利用できるクレジットプランなどの様々な特典を受けることもできる。



ベルモンドとは 1976年、イタリア・ベニスの名門ホテル「チブリアーニ」とあこがれの豪華列車「ベニス・シンプロン・オリエント・エクスプレス」から歴史の幕を開けたベルモンド。以降、フィレンツェ市を一望する高台に建つ貴族の館「ヴィラ サン ミケーレ」や、アマルフィー海岸を望む絶景ホテル「カルーソ」など、ヘリテージ・コレクションの数々を展開するホテルグループとしてセレブたちに愛され続けている。そんな同社が世界各地で運営しているのが、アガサ・クリスティ『オリエント急行殺人事件』の作品世界にも連なる豪華寝台列車の旅。アールデコ様式で彩られた内装の中、有名シェフの料理でワインを愛でるひとときは、まさに至福の瞬間だ。



ヨーロッパ

ベニス・シンプロン・オリエント・エクスプレス

ベニス～パリ間 ほか

世界中のセレブたちも憧れる、豪華列車の代名詞的存在。19世紀の優美な雰囲気が残る空間で、ヨーロッパの風景を楽しみながらワインと美食を満喫できるトレイントリップは、生涯忘れられない時間となることだろう。



イギリス

ブリタニック・エクスプローラー

イギリス

2025年7月に登場予定のベルモンド社では英国2番目の豪華寝台列車。ロンドンを出発し、コーンウォール・ウェールズや絵本『ピーターラビット』の舞台としても知られる湖水地方などをめぐる4日間の旅が提供される。



イギリス

ブリテイッシュ・ユールマン

ロンドン発着イギリス日帰り

豪華列車を気軽に体験できるのが、ロンドンから出発し、ランチやアフタヌーンティーを楽しむ日帰りツアーだ。オックスフォードやケント州の田園風景などコースはバラエティ豊かで、クラシックな内装が贅沢な時間を飾る。



南アメリカ

アンデアン・エクスプローラー

ペルー～チチカカ湖周遊

南米ペルーを旅するなら、高原鉄道体験は欠かせない。クスコから壮大なアンデス山脈の最高峰を目指し、チチカカ湖を経てユネスコの世界遺産に登録されたアレキパの町まで、3日間の豪華列車の旅。



南アメリカ

ハイラム・ビンガム・トレイン

クスコ～マチュピチュ間

往復運行で、車内での豪華な食事や取りづらいマチュピチュ遺跡入場券も含まれる。起点のクスコでは中世期の修道院を利用した「モナステリオ」などベルモンドホテルの宿泊がおすすめ。※モナステリオは16世紀に建てられた修道院である。



アジア

イースタン&オリエンタル・エクスプレス

シンガポール発着マレーシア周遊

東南アジアで唯一となる豪華寝台列車。ヴィンテージ車両の内装は植民地時代を偲ばせる寄木細工で飾られており、ノスタルジックな雰囲気。アジア、フレンチなど多様な食材を組み合わせた料理にも定評がある。